ポケット学芸員 No.100 2024.3.26



ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」が 新宿区立林芙美子記念館に導入されました

スマートフォンを利用して展示解説などを楽しめるミュージアム向け無料ガイドアプリ「ポケット学芸員」(開発元:早稲田システム開発株式会社(東京都新宿区))のサービスが、令和6年3月26日に新宿区立林芙美子記念館(東京都新宿区)に導入されました。







導入の背景

新宿区立林芙美子記念館は、作家・林芙美子が昭和16年(1941) に建て、昭和26年に亡くなるまで過ごした家で、東京都選定歴 史的建造物に選定されています。山口文象設計の和風建築で、 芙美子のこだわりが随所に見られるこの家は、林芙美子作品の 愛読者だけではなく、建物や庭に興味のある人も多く訪れ、近年は外国人の来館者も増えています。現在、土日祝日を中心に ボランティアガイドが解説を実施していますが、平日の来館者 や外国語を希望される方への対応のため、スマートフォンアプリによる情報発信を行うことにしたとのことです。

ポケット学芸員選定理由

「ポケット学芸員」は、利用中の収蔵品管理システムに付随する機能であるため導入コストがかからないこと、また既に新宿区立 漱石山房記念館で導入されており、使い勝手や更新の容易さなど も、選定のポイントになったそうです。

配信コンテンツの特徴

記念館の各部屋などについて、簡単なテキストと音声で紹介をしています。対応言語は日本語・英語・中国語(簡体字)・韓国語です。

新宿区立林芙美子記念館について

新宿区立林芙美子記念館は、『放浪記』『浮雲』などの代表作で知られる作家・林芙美子が、昭和16年(1941)8月から昭和26年(1951)6月28日にその生涯を閉じるまで住んでいた家です。大正11年(1922)に上京して以来、多くの苦労をしてきた芙美子は、昭和5年(1930)に落合の地に移り住み、昭和14年(1939)12月にはこの土地を購入し、新居を建設しはじめました。芙美子が亡くなるまで暮らしたこの家には、創作活動と同様に生活を大切にした芙美子の思いを随所に見ることができます。

新宿区立林芙美子記念館

導入施設

〒161-0035 東京都新宿区中井 2-20-1 電話 03-5996-9207

https://www.regasu-

shinjuku.or.jp/rekihaku/fumiko/12/?doing_wp_cron=1710813689.6810278892517089843750



2024年3月14日時点でサービス提供中および提供予定のミュージアム

北海道博物館/北海道関拓の村/北海道立近代美術館/北海道立三岸好大郎美術館/ 北海道立釧路芸術館/札幌芸術の森美術館/札幌芸術の森野外美術館/アイヌ文化交流 ヤンター(サッポロピリカコタン) / だて歴史文化ミュージアム / 史跡北黄金貝塚公園 / 中島・ 湖の森博物館/洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパーク/史跡入江・高砂貝塚/入江・高砂 貝塚館/とうや湖ぐるっと彫刻公園/洞爺湖芸術館/八戸市埋蔵文化財ヤンター是川縄文 館/八戸市博物館/史跡根城の広場/一関市博物館/岩手県立博物館/花巻市博物館 /仙台市博物館/石巻市博物館/歴史と文化の美術館 わらべの里/大山忠作美術館/ 諸橋近代美術館/いわき震災伝承みらい館/茨城県近代美術館/ミュージアムパーク茨城 県自然博物館/予科練平和記念館/徳川ミュージアム/歴史と未来の交流館/群馬県立 土屋文明記念文学館/飯能市立博物館 きっとす/戸田市立郷土博物館/鉄道博物館(さ いたま市)/入間市博物館ALIT/旧石川組製紙西洋館/旧黒須銀行/造幣さいたま博物館 /埼玉県立近代美術館/浦安市郷土博物館/新宿区立林芙美子記念館/世田谷区立次 大夫堀公園民家園/松岡美術館/新宿区立漱石山房記念館/昭和女子大学光葉博物館 /パルテノン多摩ミュージアム/くにたち郷土文化館/国立印刷局 お札と切手の博物館/ 慶應義塾大学/八王子市絹の道資料館/賀川豊彦記念松沢資料館/福生市郷土資料室 /北区飛鳥山博物館/桑都日本遺産センター八干子博物館/東京家政大学博物館/紙の 博物館/世田谷区立郷土資料館/世田谷区立岡本公園民家園/國學院大學博物館/昭 和館/船の科学館/立川市歴史民俗資料館/しょうけい館(戦傷病者史料館)/消防博物 館/田端文士記念館/郷さくら美術館/青梅市郷土博物館/横須賀美術館/神奈川県立 歴史博物館/川崎市岡本太郎美術館/箱根町立郷土資料館/ニュースパーク(日本新聞 博物館)/大和市つる舞の里歴史資料館/あつぎ郷土博物館/横須賀市自然・人文博物館 /小林古径記念美術館/富山県[立山博物館]/富山県水墨美術館/高志の国文学館/ 小松市立宮本三郎美術館/小松市立博物館/福井市立郷土歴史博物館/名勝養浩館庭 園/福井県立歴史博物館/福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館/敦賀市立博物館/山梨 県立美術館/長野市立博物館/髙橋まゆみ人形館/松本市時計博物館/松本市立博物館 /大垣市守屋多々志美術館/大垣市立墨俣図書館/岐阜県博物館/大垣市日本昭和音 楽村丁口夜詩記念館/中津川市鉱物博物館/大垣市黒保さくら館/スイトピアセンター 学習館/大垣市立図書館/大垣市上石津郷土資料館/大垣市輪中館・輪中生活館/大垣 市奥の細道むすびの地記念館/大垣市歴史民俗資料館/スイトピアセンター文化会館/ 大垣郷土館/大垣市立上石津図書館/多治見市モザイクタイルミュージアム/大垣城/大 垣市金生山化石館/赤坂港会館/旧清水家住宅/墨俣一夜城(墨俣歴史資料館)/東御 門•巽櫓/静岡市歴史博物館/田原市博物館/豊橋市二川宿本陣資料館/豊橋市美術博 物館/古川美術館/稲沢市荻須記念美術館/碧南市藤井達吉現代美術館/刈谷市歴史 博物館/彦根城博物館/滋賀県立琵琶湖博物館/史跡草津宿本陣/草津市立草津宿街 道交流館/向日市文化資料館/大阪市立東洋陶磁美術館/逸翁美術館/シマノ自転車博 物館/大阪国際平和センター(ピースおおさか)/貝塚市善兵衛ランド/造幣博物館/兵庫 県立歴史博物館/神戸ビーフ館/小林一三記念館/姫路市立美術館/但馬牛博物館/奈 良文化財研究所/松江歴史館/松江ホーランエンヤ伝承館/鳥根県立宍道湖自然館づど ウス/島根県立美術館/頼山陽史跡資料館(広島県立歴史博物館分館)/みよし風土記の 斤ミュージアム(広島県立歴史民俗資料館)/ふくやま文学館/造幣局広島支局造幣展示室 /広島市現代美術館/ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)/湯本豪一記 念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)/UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)/中 原中也記念館/萩博物館/高松市公文書館/香川県立ミュージアム/瀬戸内海歴史民俗 資料館/高松市美術館/菊池寛記念館/高松市埋蔵文化財センター/高松市平和記念館 /高松市讃岐国分寺跡資料館/特別史跡讃岐国分寺跡史跡公園/上島町岩城郷土館/ 愛媛県総合科学博物館/高知市立自由民権記念館/高知県立坂本龍馬記念館/高知県 立歴史民俗資料館/高知県立美術館/横山隆一記念まんが館/嘉麻市立織田廣喜美術館 / 筑前町立大刀洗平和記念館/北九州市立文学館/北九州市立いのちのたび博物館/佐 智県立博物館・美術館/佐賀県多久市/佐賀県立九州陶磁文化館/長崎歴史文化博物館 /熊本県立美術館/熊本県立装飾古墳館/熊本博物館/臼杵市歴史資料館/種子島開 発総合センター「鉄砲館」/かごしま環境未来館/鹿児島県歴史・美術センター黎明館/鹿 児島県立博物館/天城町歴史文化産業科学資料センター「ユイの館」/

ポケット学芸員の概要

「ポケット学芸員」は、スマートフォンを利用して展示解説を閲覧・ 視聴できるガイドアプリです。ひとつのアプリを複数のミュージアム で共用的に使える点が特徴で、スマートフォンにインストールしてお けば、全国のサービス実施館で展示ガイドを利用することができます。 ガイド内容は、それぞれの博物館・美術館が独自に工夫して制作する 仕組みを採用。館によってテキスト画面だけでなく写真や動画、音声 など多様なスタイルで情報が配信されています。

アプリの詳しい情報はこちらから

「ポケット学芸員」ホームページ http://welcome.mapps.ne.jp/pocket



アプリのダウンロードはこちらから

ポケット学芸員は、 GooglePlay/App Storeにて、無料でダウンロードいただけます。「ポケット学芸員」と検索してください。

(推奨OS: Androidは5.0以上、iOSは10.0以上)

Android

https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.waseda.pocket.curator



iOS

https://itunes.apple.com/jp/app/pocketcurator/id1088763931?mt=8



「ポケット学芸員」導入ご検討施設の皆様

ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」は、 クラウド型収蔵品管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」 の機能の一部です。導入には「I.B.MUSEUM SaaS」の ご契約が必要となります。

【お問い合わせ窓口】 早稲田システム開発株式会社 TEL: 03-6457-8585 Email:sales@waseda.co.jp

【Webお問い合わせフォーム】 http://www.waseda.co.jp/contact